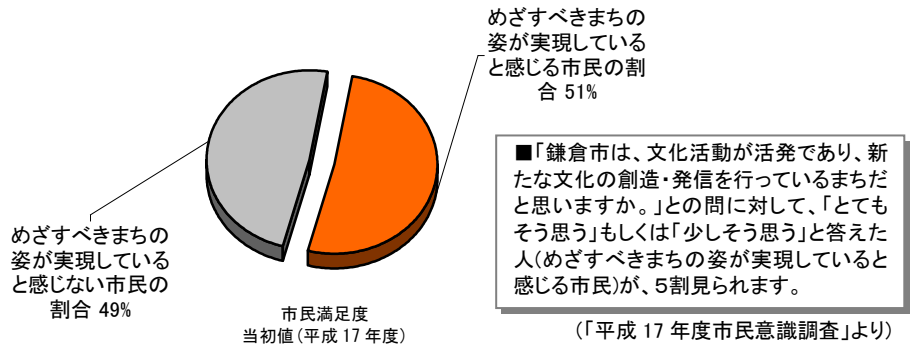


第2節 歴史を継承し、文化を創造するまち

2 文化

＜めざすべきまちの姿＞

文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまち



■ 現状と課題 ■

- 価値観やライフスタイルの多様化が進む中で、市民の自主的で創造的な文化活動が活発になっており、だれもが気軽に参加できる文化活動の機会やわかりやすい情報の提供、交流の場が必要となっています。
- 鎌倉は先人から引き継がれた貴重な歴史や文化とともに、進取に富んだ感性豊かな市民に恵まれています。これらを活かし、魅力にあふれた個性豊かな鎌倉のまちづくりを進めていく必要があります。
- 市民の自主的で創造的な芸術文化活動を促進するため、芸術文化振興財団等と協力して、支援・育成などについて充実を図る必要があります。
- 近代鎌倉の風土が生み出した鎌倉ゆかりの文学や絵画などの作品は多くあります。それらを後世に守り伝えていくことは、鎌倉のまちづくりにとって重要なことです。
- 鎌倉市文化推進プラン21*の理念に基づいて、歴史と文化を総合的に推進していくことが求められています。

■ 目標 ■

【目標】

市民がこれまで培ってきた文化の伝統に加えて、新たな文化を創造・発信するために、文化活動の振興を図ります。

【施策の方針】

1. 文化活動の条件整備
2. 文化活動の支援
3. 文化施設の整備
4. 文化活動の推進

■ 施策の方針 ■

1 文化活動の条件整備

市民が身近な場所での芸術鑑賞や気軽に文化活動に参加できるように、場や機会の提供や情報の充実を図ります。

鎌倉市文化推進プラン21: 鎌倉の文化の特徴や課題を考察し、文化を育て、創造し、発信していくにはどのような政策や仕組みが必要なのかの基本的な方向性を示したもの。市民とともに鎌倉の文化を考え、さまざまな方々と協働しながら、よりよいまちづくりをしていくうえでの指針でもある。

2 文化活動の支援

(1) 地域文化活動の振興を図るため、市民の自主的文化活動を支援するシステムづくりに努めます。

(2) 文化的なまちの創造のため、鎌倉芸術館などの有効活用に努めます。

3 文化施設の整備

(1) 近現代も含めた文化資源の整理・保存・活用を図ります。

(2) 鎌倉ゆかりの作品を収蔵・展示するとともに、市民が活用等できる機能を有した施設を整備していきます。

4 文化活動の推進

(1) 歴史的遺産や文化資源を活用して、来訪者へも歴史と文化が生きる鎌倉を積極的に発信します。

(2) 歴史・文化を包括した文化施設等のネットワーク化と市民・事業者・NPO等のネットワーク化を図り、市は横断的組織によって、市民の文化・芸術活動を推進します。



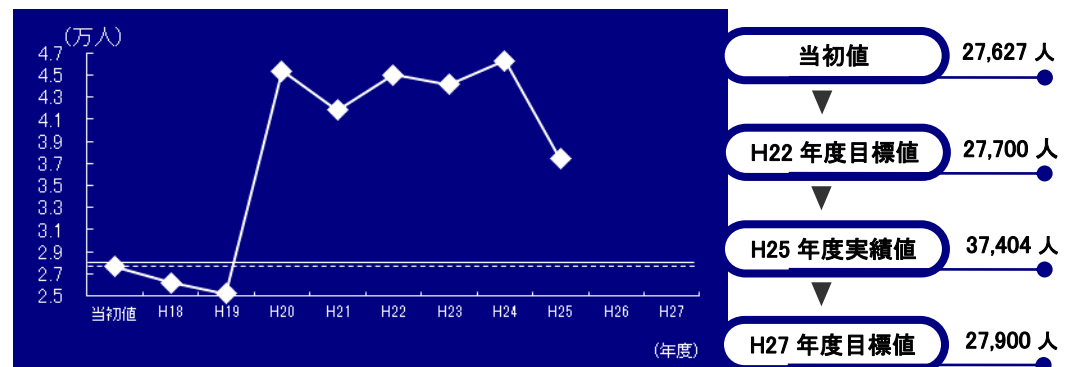
目標指標

【主な所管部・所管課】

経営企画部
文化人権推進課

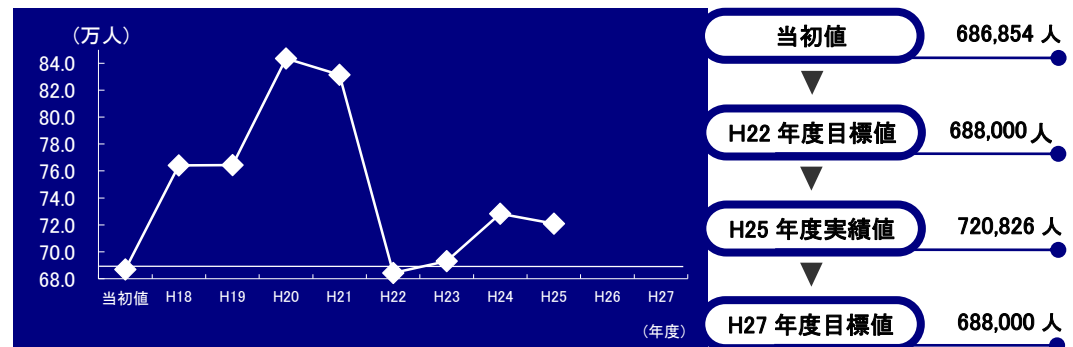
■ 市民文化祭への来場者数(+) 【統計指標】

毎年、鎌倉市が主催する市民文化祭の年間来場者数



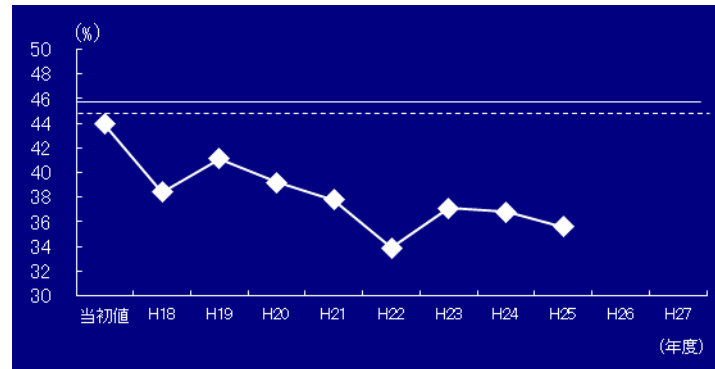
■ 鎌倉芸術館・鎭木清方記念美術館・鎌倉文学館・鎌倉国宝館の利用度(+) 【統計指標】

4施設の年間利用者数の合計



■市民文化度(+)【アンケート指標】

ここ 1 年間に、文化的イベントに参加したり、文化施設に行ったりしたことがある市民の割合



当初値 43.9%

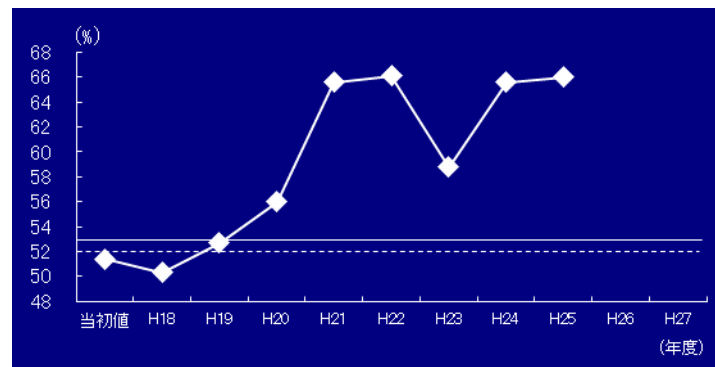
H22 年度目標 44.9%

H25 年度実績 35.6%

H27 年度目標 45.9%

■市民満足度(+)【満足度指標】

文化活動が活発であり、新たな文化の創造・発信を行っているまちの実現状況について、市民が実感している割合



当初値 51.4%

H22 年度目標 52%

H25 年度実績 66%

H27 年度目標 53%

■目標達成に向けた 25 年度の実績と自己評価

【経営企画部】

〔鎌倉芸術館の予防修繕〕

前年度に引き続き、計画的に施設・設備等の維持修繕を実施しました。

〔川喜多映画記念館の運営〕

川喜多映画記念館は開館当初から指定管理者により運営され、主に映画資料等の展示、映画上映を行ってきましたが、開館から4年目を迎え、映画上映の更なる充実や新たな市民参加型事業の実施等、市民等から好評を博す事業を行うことができました。

また、旧和辻邸については、南側の縁側等の修繕を予算の範囲で行いました。

〔(仮称)鎌倉美術館の整備〕

美術館の市内適地等の情報収集を行うとともに、美術工芸品等収集選定委員会に意見を聞き、市への寄贈品等の円滑な収集事務を進めました。

また、美術品保管委託として、美術品保管実績のある民間倉庫において、市が保有する美術品の適正な保管を行いました。

■8年間(平成 18～25 年度まで)の取組の評価

【経営企画部】

市民サービスの向上と施設の効率的な運営を図るため、指定管理者制度を導入すると

もに、市民の芸術文化鑑賞機会の拡充や文化活動機会の充実を図りました。

また、本市の子どもの文化芸術活動の意欲を高め、活動を支援するため、平成 25 年度に「鎌倉市ゆめひかる文化芸術子ども表彰」を創設しました。

■ 25 年度までの未達成事業の課題・問題点など

【経営企画部】

〔鎌倉芸術館の予防修繕〕

今後も円滑な施設運営を行うためには大規模修繕が必要ですが、多額な修繕費を要することになります。長期的展望に立った修繕を計画的に行っていく必要があります。

〔川喜多映画記念館の運営〕

用地選定が進まない中、具体的な施設内容の検討が進んでいない状況です。

■ 第3期基本計画の施策の方針における今後の展開(取組方針)

【経営企画部】

《文化活動の支援・推進》

鎌倉市文化推進プラン 21 に基づき、さらに市民の文化活動を促進し、新たな文化の創造、発信を推進します。

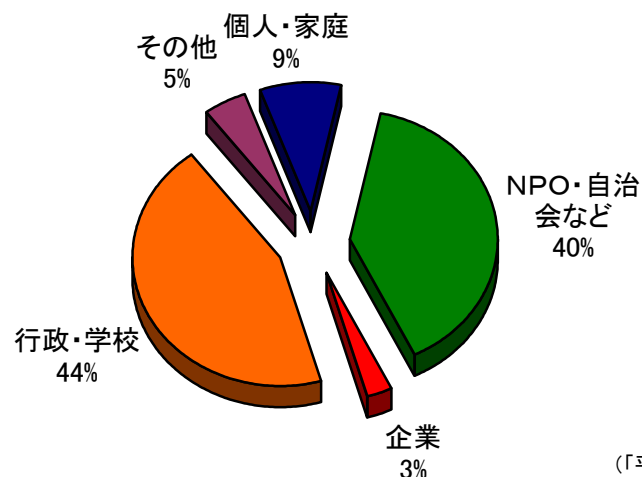
各文化施設を地域の文化芸術の創造・発信の場として、さらに充実した事業の実施、効率的な運営を図ります。

鎌倉市公共施設再編計画基本方針に基づき、鎌倉芸術館等の修繕を進めます。

■ 市民・事業者・NPO等と行政の協働目標

- 文化資源を大切にし、みんなで整備・保存・活用に努めます。
- 歴史・文化を包括した文化施設・活動のネットワーク化を図り、文化・芸術活動を推進します。

参考：市民が期待する各主体の役割の大きさ



(「平成 15 年度市民意識調査」より)

鎌倉市民評価委員会による評価

この分野の8年間の取組は、十分であった。

この分野の8年間の取組の進捗状況・取組のあり方に関する意見

- ・市民の芸術文化鑑賞機会の拡充、文化活動機会の充実を図った。
- ・平成 22 年4月に映画文化の発信の場として川喜多映画記念館が開館し、鎌倉芸術館や川喜多映画記念館などの運営を積極的に推進してきた。また、指定管理者制度を上手く運用したことも評価できる。ただし、指定管理者制度の有効活用により、各施設の利用者数を増やす等の努力が認められるが、事業全体において、建物等ハードウェアの維持・管理に関する割合が多い。現存の文化施設での今後のサービス向上に期待したい。
- ・鎌倉ゆかりの文化人による小中学校へのアウトリーチ事業「ようこそ先達事業」や子どものための「鎌倉市ゆめひかる文化芸術子ども表彰」の実施などはよい取組と思われる。次代を担う子どもたちに文化・芸術への興味を一層惹き立てることを期待する。
- ・市民へのアンケートにより「文化」について、市民が持つイメージを把握しようと努力している。
- ・古都、歴史とともに鎌倉の文化を守り、継承し、発展させる施策が展開されてきたと思うが、評価の過程ではそれらがきちんと提示されていないことが問題である。

第3期基本計画に向けたこの分野に関する意見

- ・鎌倉らしい「文化」としてバックアップするような施策が見えない。世界遺産登録に翻弄された感があったが、今後は文化推進プランに基づいて、鎌倉にふさわしい文化芸術の創造・発信の支援に尽力して頂きたい。
- ・文化財の保護・運営に留まらず、市民が新たな文化を創造・発信できる場の創出が今後の課題であると思われる。
- ・アンケート結果を基に重要度や優先順位を決めて、市民ニーズに応じた事業を実施して欲しい。
- ・市内には文化活動を行うクリエイターも多く、フリースペースやイベント等で合同展示が行われている。新しい文化芸術を取り込みたい。
- ・鎌倉市公共施設再編基本計画に基づいて、老朽化が進んでいる文化資源の長寿命化、整理・再編による有効活用を期待する。
- ・指定管理者の運営によって歴史的遺産・文化資源の活用が市民などに喜ばれることを期待する。

この分野の指標に関する意見

- ・満足度と市民文化祭来場者数との相関性は高いが、「文化的イベント」とは負の相関関係にあり、両極端である点が不可解である。伝統文化と大衆文化の違いが原因とも考えられる。
- ・市民満足度は徐々に向上しており、市民の理解が得られていると考えられる。引き続き施策コストとの効率性を考えながら施策を実行していく必要がある。なお、指標は徐々に上昇しており、目標値をどこに置くかが次の課題である。
- ・芸術館などの利用率は最近、減少傾向であり、今後、検討が必要である。なお、利用者数の増加も必要かもしれないが、利用した結果、満足したかどうかが重要である。
- ・アンケートによって明らかになった、「市民が求めるもの」が現状でどうなっているのか？を把握し、それをベースとした指標を新たに設定すべきである。

	・市民文化度が低い、設問の仕方が悪いのか。市民はもっと文化に親しんでいる印象がある。 この分野に関する総括意見 ・満足度の実績、市民文化祭への来場者数、鎌倉芸術館等への利用者数が示すとおり、伝統文化に対する市民の関心・活用は相当高い。 ・この8年間の間に、ジャズ祭が民間主催に移管されたが、他に鎌倉の文化を発信できるテーマについて検討する必要がある。若い世代が、文化活動したり鑑賞できる文化的環境を充実させることが望まれる。 ・関係する施設の維持管理が課題となっており、費用面ではそちらに取られる割合が高いことから、極力市民の協力を得て文化の継承・創出を図っていくことが求められる。 ・市民満足度は決して低くはないが、イベントや施設の利用が伸び悩みで、その要因をもっと丁寧に検討して解決することが必要だと思われる。 ・文化は歴史環境や産業等の分野とも密接な関係があるため、相互に連携を取り合いながら、具体的に何をする事が市民のニーズに応える事になるかを考えながら事業を実施して頂きたい。 ・観光客や市民が鎌倉の文化に接するための施策が欲しい。広報に力を入れてほしい。外国籍市民からは映画記念館での英語作品の提供を期待されている。 ・文化の創造・発信の具体的方策として「文化芸術創造都市」推進事業に応募することを勧める。
--	---

実施計画	■鎌倉芸術館の予防修繕(2-2-2-①) ■川喜多映画記念館の運営(2-2-3-①) ■(仮称)鎌倉美術館の整備(2-2-3-②)
個別計画	■鎌倉市文化推進プラン21
事務事業評価	■文化行政推進事業(経企-17) ■旧和辻邸管理運営事業(経企-19) ■川喜多記念館管理運営事業(経企-20) ■鎌倉芸術館管理運営事業(経企-22) ■鍋木清方記念美術館管理運営事業(経企-26) ■文学館管理運営事業(経企-27) ■文化・教養施設管理事業(文財-01)
関連リンク	■文化・芸術(文部科学省) ■芸術・文化振興施策(文化庁)